

待望の新作オリジナルミュージカル上演!!

ラブリーホール
オリジナル
ミュージカル
Vol.9

ヤエクの森

Forest of YaeKu

8/5日
15:00 開演
(14:30 開場)



ラブリーホール・ミュージカルスクール

特集 Interview

ひとつの作品を創りあげるには、たくさんの人の努力と協力が必要です。今回は、そんな裏方スタッフにスポットをあて、その中でも“核”となる役割を担う演出、作曲、台本、衣裳の4人の方々に素朴な疑問と、普段聞けそうで聞けないことをお伺いしました。

NHK-Eテレ「シャキーン!」やドラマ「フランケンシュタインの恋」などの音楽を担当、またCMにもたくさんの楽曲を提供されているサキタハチメさんにお伺いします!

★曲って、そんなに頻繁に浮かぶものですか?
【サ】はい(笑)。僕ね「曲を降ろす」ってことができるんですよ。作曲モードのスイッチをONにすると、歌詞を見た目でザザザザザと「音」がでてくるんです。

★発注を受けたものを書くことに対する抵抗感みたいなものってありますか?
【サ】抵抗感はないです。最近では「サキタくんらしく作ってよ」と依頼して頂く事がほとんどなので、どんな曲にも僕らしさが出てくると思うんです。それに作った曲を渡した時に喜んでもらえる事が本当に嬉しいんです。

★サキタさんは、作曲家として活躍される一方、のこぎり奏者としてアーティストであったり、イベントをプロデュースしたりと多才ですが、どれが一番自分に向いていると思いますか?
【サ】得意なのは、曲を作ることかな。でも作曲家っていうんじゃなくて「曲、思い浮かべ業」かな?(笑)。それが一番自分に向いていると思います。僕、中3の時に35歳に決まっていたんですけど、勝つ歳になったら「サキタハチメ業」をやろうと(笑)。人から「サキタさん、いつ見ても楽しそうにしてはるなあ〜」って思ってもらったり、誰も思いつかないようなアイデアを出すっていうのが「サキタハチメ業」なんです。



小劇場演劇界を一世風靡した「ランニングシアターダッシュ」の旗揚げ人である大塚雅史さんにお話を伺います。
★演劇の世界に飛び込まれたきっかけとは?



「ムーンライトミステリー」「エターナルガーデン」「夢見の王国」に続き、本作「ヤエクの森」で4作目の台本となる宮地泰史さんにお話を伺いました。
★台本に興味を持ったきっかけは何だったのでしょうか?
【宮】昔から映画が大好きなので、台本への興味は10代の頃からありました。でも実際に書きはじめたのは30代に入ってからです。

★登場人物の中で一番好きなキャラクターは誰ですか?
【宮】もちろんどのキャラクターにも思い入れはあるのですが、敢えて言うならルカとキリです。初めは二人の名前をタイトルにしようと思っていました。
★「ヤエクの森」の台本の中で大切にしている点はどこですか?
【宮】登場人物たちが物語の中で一生懸命に生きているかどうか。それを一番大切にしました。
★今回の作品の見どころはどこですか?
【宮】歌ですね。今回は歌にある仕掛けを施してみました。それがどのように料理されるのか今から楽しみにしています。



ミュージカル「東京キッドブラザーズ」の舞台は本当に衝撃でした。こんなにおもしろいものがあったのかと。そこから演劇の世界にどっぷりです。

★「演出家」とは、公演の中でどのような役割をしているのでしょうか?
【大】ひとこと言うとコーディネーターとかスタイリストかな。色々な人の才能を集めて、刺激し合いながら、それぞれの才能を最大限に生かせるように組み立てる。演出ってそういう役目だと思うんです。

★新作ミュージカルへの意気込みを。
【大】今、頭の中では、すごいミュージカルが出来上がっていくイメージがあるんです。だからそれを実現させたいですね。今はほんとにまだ妄想段階ですけど、役者、スタッフ、衣裳、もちろんサキタさんたちのお力をお借りして、できるだけこの「すごいミュージカル」の妄想に近づきたい!と思っています。どうぞ楽しみにしてください!

では、サキタさんと、大塚さんにお聞きます!
★サキタさん、大塚さん、おふたりに質問です。作曲、演出する中で一番楽しい時っていつですか?
【サ】デモ曲を作って提出するとき!自分の色んなアイデアをつめた曲を渡す時が一番ワクワクする。

【大】サキタさんと一緒に台本をもらってから自分の中で色々妄想する時が一番自由で楽しいですね。そして、子どもたちがその妄想を実現させようと頑張ってくれる姿、それを眺めるのが幸せな時間です。

インタビュー

演出/大塚雅史 台本/宮地泰史
作曲/サキタハチメ 衣裳/植田昇明

★ラブリーホール・ミュージカルスクールって、お二人にとってどんなチームですか? またスクールの魅力とは?
【サ】とにかく、すごく真つぐな子どもたちですね。人を蹴落としたり、意地悪したりって、どこのチームでも多少なりともあるものじゃないですか。それがこの子どもたちにはないですね。真つぐな姿勢で作品に臨んでくれるから感動するし、曇りのないピュアさがすごく魅力的で、僕はそんなみんなが大好きです。

【大】「もっと練習したい! 頑張りたい!」っていう思いがすごいですよ。子どもたちの一生懸命さと前向きに頑張る姿は、心打たれますし魅力的です。
【サ】スクールの子どもたちには、これからもっと色々な世界を見せてあげたいし、たくさんを経験させてあげたいと思います。

【大】このスクールは、上の子がちゃんと小さい子の面倒をみて、チームワークもあって、
【サ】それでいて素直でね。
【大】ほんとにどうやってこんなチームが出来上がったんだろうって不思議なんですよね。

【サ】小学4年生とか5年生とか小さい子たちも自立していて、ちゃんと自分たちで考えて行動することができる。それってすごくないですか?
【大】いや、すごいですよ。そして何よりみんな自分たちのスクールがほんとに大好きなんですよね。
【サ】そう! そう! 「スクール愛」がすごいですね!!



おまけ みなさんにお伺いしました!

①好きな食べ物は?
【サ】一徹のセギモ/ツルザワのフルーツサンド
【大】トマト
【宮】K's キッチン(ラブリーホール内レストラン)のカツカレー
【植】ツナです

②休みの日は何をしていますか?
【サ】家族で過ごしたり、温泉行ってます。
【大】休んでも色々考えてしまうので、実質休みはないかも。
【宮】最近、あまり休んでいるという自覚がありません(笑)。
【植】休みの日は散歩しながら服履きです。

③世界が明日なくなるとしたら、最後に何をしますか?
【サ】めっちゃ笑う
【大】海をどこまでも泳ぎたい
【宮】あれこれ考えているうちに終わってしまいたい
【植】みんなでご飯食べたい

これまでのミュージカル作品



夢見の王国より(2015)



エターナルガーデンより(2016)



ムーンライトミステリーより(2017)

河内長野市文化連盟



◆活動報告◆

5/13(日) 会場:赤峰市民広場
「第26回河内長野市民まつり」に参加しました。

河内長野夢宇宙



【ブースでの取り組み】

- ・ドリンクの販売
- ・造花部門による「ゆり」の花づくり体験 待ち時間が出るほどの人気で、海外の方も体験されました。
- ・「河内長野夢宇宙」と題し、大きな地図に来場のみなさまと一しょに河内長野の夢や未来、希望を描きました。当日は雨のため、未完成です。文化祭の開催中に展示し、完成させる予定です!

【環境美化担当】

・ごみ持ち帰り、トイレ清掃に取り組みました。



ロビー展示作品募集

ラブリーホールの玄関ロビーに飾る作品を募集します。作品のジャンルやテーマは問いません。ロビーを素敵な空間に演出していただけますよう、ご応募お待ちしております。



展示内容

- 期間 平成30年7月9日(月)~9月2日(日)
※展示期間は準備と撤去を含めて最大で7日まで。
- 展示スペース 約70cm×約170cm×高さ約90cmの展示台に収まる作品。作品の規模により1つの台に複数の作品が展示される場合もあります。展示台は右記をご参照ください。
- 申し込み方法 6月1日(金)9時よりラブリーホール事務室にて受付します。受付初日は事務室窓口へ直接お越しください(応募者多数の場合は抽選)。抽選でない場合は先着順で、定員になり次第締め切りとさせていただきます。

出品料 無料

◆今後の活動

- 8/4(土)・5(日) 会場:キックス 次の世代に文化をつなぐ 第10回 夏休み子ども体験教室
- 10/26(金)~11/5(月) 会場:ラブリーホール、キックス 第64回 河内長野市文化祭
- ◆各部門別活動(6月~8月)
6/1(金)~3(日) 会場:キックス 書法篆刻展
8/2(木) 会場:キックス 太鼓交流会